

【資料2】

平成29年度の新規事業（案）

地域の潜在的な労働力の掘り起こしや地域外の担い手の確保、育成までのモデルを構築。

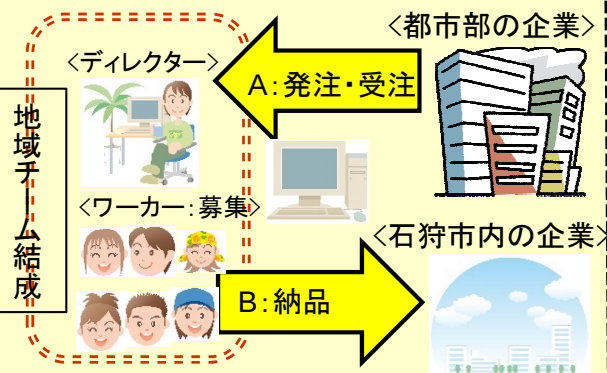
取り組みのねらい

- 地域内の潜在的な労働力を掘り起こすとともに、起業や就業しやすい環境づくりを推進。(クラウドサービスの普及など)
- 地場企業と外部人材等とのマッチング支援モデルを確立するとともに、地域内人材の育成を実施。

施策の概要 (イメージ)

<潜在的労働力の掘り起こし・起業等がしやすい環境の整備>

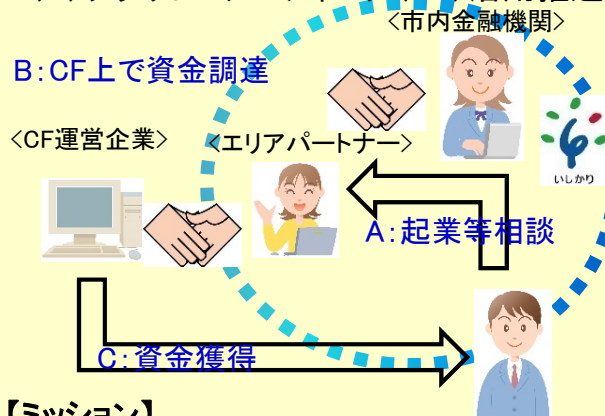
(1) クラウドソーシング(CS)活用推進



【ミッション】

- ① 地域内で説明会を開き、CS登録者を募集
- ② 地域でチームを結成し、研修等を実施
- ③ CSシステム上で実際に仕事を受注、納品
- ④ 地場企業にもCSを通じて実際に仕事を発注し、CS利用を促進(H30実施予定)

(2) クラウドファンディング(CF)活用推進



【ミッション】

- ① CF運営企業とエリアパートナーの連携促進(まちづくり会社がエリアパートナーの役割)
- ② 市内金融機関とも連携し、融資相談の顧客にCFを紹介してもらうなど、融資と組み合わせた資金調達を支援

<新たな労働力の育成>

各種スキルアップセミナーや研修受講を促す枠組みを創出し、新たな担い手の育成を推進

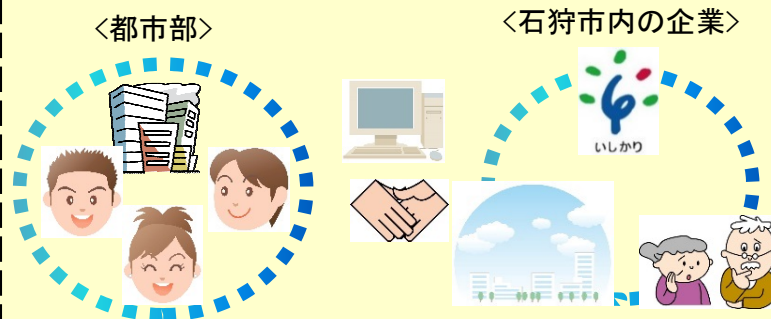


<労働力の確保>

(1) 地場企業ニーズの把握

【ミッション】

- ① 地場企業が求めている人材をリサーチ(労働者、後継者等)
→ H30に地場企業と外部人材とのマッチングイベントとして「人材ドラフト会議」を開催予定(※下記イメージ図)
- ② 市内における新たな働き方の検討
Ex: マルチワークの推進... 人手が必要な時期が異なる仕事を掛け合わせて通年の雇用を確保する。



(2) ママインターンプロジェクトの実施

【ミッション】

- ① ママインターン受入地場企業の掘り起こし
- ② インターン説明会の開催
- ③ インターン希望者と地場企業とのマッチング



石狩製品のブランド化を目指し、知名度向上、販路拡大プロモーションを展開する。

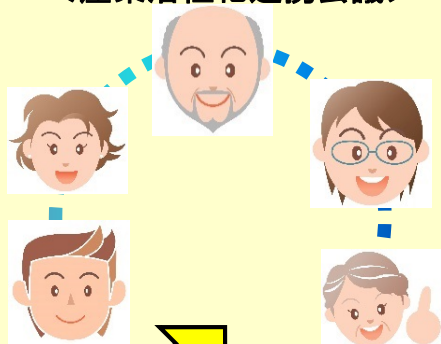
取り組みのねらい

- 石狩製品のブランド化に向けた戦略等を検討するとともに、地場産財を活用した新たな商品開発を実施する。
- 都市部の飲食店などと連携して石狩製品の知名度向上を図ると共に、販路拡大に向けた取り組みを進める。

施策の概要（イメージ）

<石狩製品ブランド化に向けた戦略検討>

<地場企業等活性化審議会>
<産業活性化連携会議>



①ブランド化戦略の検討

【ミッション】

・既存商品及び新商品のブランド化に向けた戦略を検討

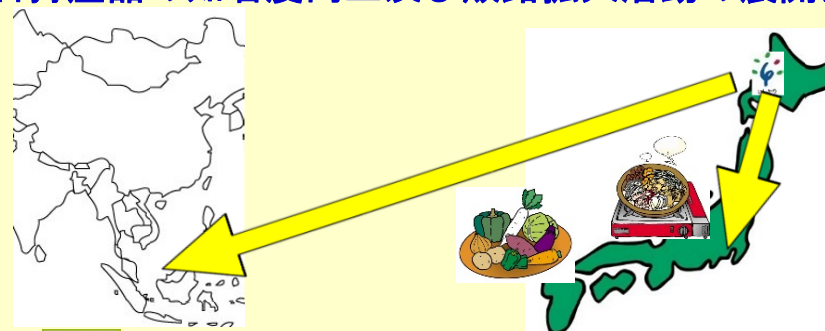
②新商品の開発

【ミッション】

地場産財を活用した新たな土産品開発
・石狩産フルーツを活用した新たな土産品の開発を予定



<石狩製品の知名度向上及び販路拡大活動の展開>



北海道のアンテナ飲食店
(シンガポール)

ご当地アンテナ飲食店
(東京都内)

【ミッション】

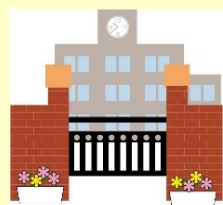
- ①東京都内のご当地アンテナ飲食店と連携し、期間限定(約1ヶ月間)の石狩地域フェアを展開。(Ex: 石狩鍋や魚介類など)
- ②シンガポールなどの北海道のアンテナ飲食店と連携し、石狩産品を活用した料理提供をトライアル実施。
- ③上記展開を切り口に、上記店舗での恒常的な販路を確立を目指すとともに店舗での試食会などを通じて他の販路開拓活動も実施。

大学生インターンを活用した商店街魅力化の検討及び推進モデルを構築。

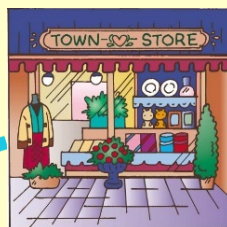
取り組みのねらい

- 市内及び首都圏の大学生という外部の若者の視点や発想を活かした商店街魅力化の検討を行い、商店街に提案する。
- 魅力化に向けた提案を踏まえ、次年度以降も継続して商店街関係者とともに、商店街の魅力アップ施策を推進する。

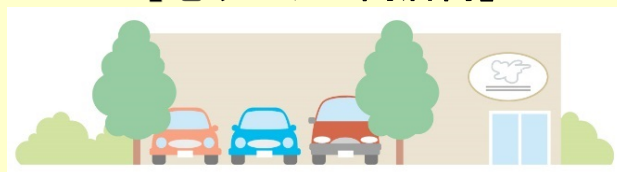
施策の概要（イメージ）



インターン(1ヶ月間)



【地域モデル商店街】



花川中央商店街

＜大学＞
市内：藤女子大学
首都圏：大正大学、立教大学
海外：チャップマン大学（米国）
※各大学2名程度

【プロジェクトの流れ】

＜事前準備＞

- ・商店街の現状把握（市職員を大学に派遣してレクチャー、※チャップマン大学を除く）
- ・花川中央商店街の実態調査（藤女子大学が担当）を実施し、他の連携大学と共有。
- ・商店街魅力化に向けたイベントの企画準備作業（Ex: キッザニア商店街など子供とその保護者を商店街に誘導できるようなイベントを想定、首都圏大学が担当）

＜インターン＞

- ① 商店街内の複数店舗（2～3店舗でそれぞれ2日間程度）での就業体験を実施し、商店街の現状を肌で感じる。
- ② 商店街魅力化に向けたイベントの企画・運営を行い、商店街関係者とのハンズオンで取り組む。
- ③ 上記活動を基に、商店街魅力化に向けたプランを提案。
※滞在期間中、商店街店主宅へのホームステイも実施予定。

翌年度以降は大学生が提案したプランの実現に向けた活動を継続的に展開